



ソフトバンクグループ株式会社

2019年3月期決算説明会 質疑応答

2019年5月9日

質疑応答

質問 1： ヤフー株の自己株 TOB で 5,265 億円がソフトバンクグループ株式会社（SBG）に入りますが、これは何に使われるのでしょうか。ソフトバンク・ビジョン・ファンド 2（SVF 2）に入るということでしょうか。それが 1 点目。

二つ目はスプリントと T-Mobile US の経営統合が遅れているように思うのですが、この見通しは今どうなっていますでしょうか。何か戦略変更みたいなことも今後あり得るのでしょうか。以上 2 点です。

孫： ヤフー株式会社（ヤフー）の件については、われわれの子会社でありますソフトバンク株式会社（SBKK）社長の宮内がぜひヤフーを子会社として傘下に置き、直接彼らとシナジーを事業会社同士で最大限に出していきたいということ。

ヤフーからしてもぜひ SBKK と連携することによってヤフーの E コマースや PayPay 株式会社などもどんどん強くなっていけると考えているため、お互いがぜひそうしたいという話が私のところに来ました。

私は最初の一言目は、いや、君たちの気持ちは分かるけれどもと、結果君たちがそういう形になると、また孫がおまえたちのバランスシートを財布代わりに使って親会社として自分の資金繰りに使いたいから、そう仕組んだのではないかと、いろいろな人に言われるかもしれない。それが嫌だなあ、と申し上げました。

しかし、彼らとしては、いやいや、もうそういう小さなことは忘れてくれと。あえて孫さん、批判を受けておいてくれと。自分たちはぜひそうしたいのだという話がありましたので、ではしようがない、いいよと、それを受けることになりました。

結果的にわれわれはヤフーの自社株買いの TOB に応じることで、資金が入ってくるわけですが、入ってきたお金は財務バランスの強化と、SVF 2 の資金準備と、そして今回の配当の増配と、そういうことにバランスよく使われることになります。

2 番目のスプリントについて。スプリントの決算発表がつい先日行われていますが、事業そのものは苦しいながらも一応順調に行っている。

しかし、これからの 5G だとか、中長期の戦略を考えると、T-Mobile US との合併が一番、T-Mobile US にとってもスプリントにとっても、そして米国の消費者にとっても、また国家戦略とし

での5Gネットワークの強化といったさまざまな観点で見ても、この合併が実行されるのが一番ベストだとわれわれは信じているし、またそれは理にかなっていることだと思います。

実際に合併の承認が下りるかどうかはわれわれには分からないことで、あくまでも政府当局が最終決定をすることです。しかしわれわれはそれがよいことだと伝わることを信じて、ひたすら願い、その説得の努力をしている状況です。

質問2：SBKKとヤファーがいろいろ連携を強化していくと考えた場合、例えばいっそうのこと両社で経営統合して合併したらより良いのではないかと見ることもできなくはないと思うが、孫さん、お考えをお聞かせいただけますでしょうか。

孫：何でもありだと思うのですよ。正直申し上げてですね。何でもありですが、あくまでもSBKKの宮内を中心とした経営陣と、そしてヤファーの川邊を中心としたヤファーの経営陣がよく話し合っ、何が今後最も良いのかを、今回のストラクチャーをまず手始めとして、その後、何をどうしていったらいいのかは、これから十分に進展を見ながら判断することではないかなと思います。

質問3：日本におけるライドシェアの規制について、去年7月に孫さんが日本の法律でライドシェアが禁止されているそんな馬鹿な国があるのが信じられない、というご発言があったと思うのですが、今年3月に政府が示した方針は、結局タクシー業界の要望をそのまま丸飲みしたような形で、かなり緩和とは逆の骨抜きになったように見えるのです。

単に車の所有問題ではなく、もっと自動運転やAIなどと絡めて非常に重要な話になってくると思うのですが、その日本の方針について、改めてご意見をお聞かせください。

孫：私の思いは変わらないですよ。いろいろなそういう規制をすれば、進化を遅らせることになってしまう。日本のGDPに占める中で、自動車産業がいかに大きな存在であるのかということです。世界に誇れる世界一の会社が日本の産業の中に一体いくつ残っているのかという状態なのに、その世界に誇る日本の自動車産業が、産業ごとやられてしまう危険性すらあるわけです。新しい時代に自動運転だとかMaaSだとかそういう業態にそのものが進化していくことができなかつたら、根底からやられてしまうリスクがいっぱいあるわけです。

ですから、小さな正義と大きな正義と、新しい時代が来るときに、ぜひ政治家の皆さんだとか規制当局の皆さんは、日本国の最も大切な最後を守るべきところはどこにあるのか。そしてまた、消費者が何を求めているのか。消費者が求めていなければ、規制を緩和してもどっちみちその産業は育たないわけです。

もしその産業が育つとすれば、それは消費者が求めているから、ということだろうと思うのです。ですから、規制当局の皆さんとか政治家の皆さんはぜひ、世界で何が起きているのかに目をつぶらないで、ちゃんと目を見開いて判断いただきたいなと願っています。

しかしわれわれはどちらにしろ、ライドシェア企業への投資は国内での展開を当てにして投資したわけではありません。米国だとか中国だとか欧州だとか東南アジアだとか、日本以外の世界中でどんどん成長しています。

その状況下で投資を決めているわけで、日本の規制当局が緩和しようがしまいが、われわれ SBG の経営から見れば、それこそ誤差程度なのですが、日本国のために、日本の消費者のためにただ悲しんでいるということです。

質問 4： QR コード決済が広がりつつあり、ソフトバンクグループも「PayPay」の利用促進に力を入れていると思うのですが、AI 時代における決済データの価値と言いますか、その決済データを握ることのインパクトについて孫さんのお考えをお伺いできますでしょうか。

孫： 決済データは大変重要な AI のデータになります。決済データを握り、お金の流れがどうなっているのかを把握することで、AI が次の動きを推論していくのに欠かすことのできないデータだと思っています。

そういう意味では中国が世界に先駆けて、最も進化して実現されています。これは米国よりも日本よりもどこの国よりも進化している。しかも最近は、東南アジアやインドだとかが米国よりも先に、キャッシュレスでの決済データが QR コードを使った形で進化し始めている。

これは日本もこれから取り残されてはいけないと思いますし、米国ですら、今取り残される状況にあるということではないかと思います。大事だと思います。

質問 5： 新しい 1 万円札に選ばれました渋沢 栄一さんについてお伺いします。孫会長は 20 年前にナスダックジャパンを立ち上げる際に、尊敬する渋沢 栄一さんを目指すとご発言されておられ、300 年間続く企業を目指したいというご意向を表明されています。また、渋沢 栄一が関与した企業の多くが存続している長寿命で知られています。一方で財閥をつくらなかったという点など、今改めてその良さが見直されています。

孫さんは改めて渋沢 栄一さんを目指されるのか。あと、SBG 自体がインターネット財閥だ、みたいなことを言う方もいるわけですが、その財閥の是非とかあり方についてお考えを教えてください。

孫：いや、私は日本の財閥のすばらしいところもたくさんあると思います。また、渋沢 栄一さんがつくられた仕組みもすばらしいと思っています。

しかし、われわれの SBG の群戦略は、またそれとは違う観点での進化を遂げていきたい。彼らをそのまま模倣するのではなく、別物として進化していきたいと思っています。

なぜ、どう違うのかを言い始めると、独りよがりなところが出てきますので詳細のコメントは避けませんが、SBG の群戦略、しかも AI および情報革命に特化する形で、世界の No.1 だけを組み合わせ、しかもあえて 51% の株を取りに行かない。あえてアンチテーゼのところを狙っている部分もあるということで、われわれなりの進化をしていきたいと思っています。

質問 6：20 年前に渋沢 栄一さんを目指されるというご発言をされているのですが、そのときとお考えが変わった部分があるのでしょうか。

孫：目指すというのは一つの表現ですが、模倣するということではないです。違う形の進化を遂げていきたいということです。

質問 7：SVF 2 の件についてですが、どのような取引先と交渉しているかという質問です。例えばサウジアラビア、あるいはオマーン、あるいはムバダラ（アラブ首長国連邦）と交渉しているかどうかという 1 点目です。サウジアラビアについてですが、カシヨギ氏の殺害について、半年前、孫さんがおっしゃっていたのは、そういうサウジアラビアから金を預かった。それから真相究明がしっかりと行われ、説明が行われた後に改めてもう 1 度よく考えることになろうかと思う、とおっしゃっていたと思いますが、もうかなり時間が経ったので、もう何が起きたのか、それは明らかになっていると見ていらっしゃるかどうか。

孫：SVF 2 の投資家がどういう会社、あるいは組織で、いつ頃、どんな形でどのぐらいの規模でというのは、今語るのは時期尚早です。個別の相手先に対するコメントは、現時点ではノーコメントとさせていただきますと思います。

質問 7：SVF 2 の立ち上がりまで、どのように今までの情熱一杯のペースを保っていかうとお考えなのか。例えば、SVF 1 の IPO、選択肢としてはどのようにお考えになっているのか、基本的な考え方をお話してください。

孫：かなり早い時期にまず SVF 2 の立ち上げは始まると思います。ですから、1 と 2 の間にはそんなにギャップは事実上空かない。ですから、SVF 1 の投資がある程度区切りがついたとしても、途切れることがないようにスムーズに SVF 2 の投資が始まることのできるような、暫定的スタートから始まると。

その暫定的スタートは、とりあえず SBG がまず 100%でスタートすることも含めて、方法論は考えている。早くまず立ち上げて、ずっと 100%ではなくて、そしてそこに他の投資家が加わってくることも含めて、方法論は今何通りか検討している。SVF に対する情熱が私の情熱の 97%で、ほとんど SVF で頭いっぱい、心もいっぱい、情熱、胸も全部いっぱいでございます。

IPO については、一部に噂がありますが、現在コメントすべきではないと思っています。

質問 8：トヨタの時価総額が今 21 兆円ですが、営業利益では今ほぼ肩を並べる状況になりました。先ほどディスカウントの話を知ると、もう時価総額超えてもおかしくないと思うのですが、そのあたり、どう考えていらっしゃいますか。

孫：いや、トヨタさんは世界でも大変すばらしい、尊敬されるべきポジションにおられ、しかもわれわれのパートナーですから、大変尊敬しています。

ですから超えるとか超えないとかそういう次元の話ではなくて、トヨタさんもこれからさらに MaaS として進化していきたいとおっしゃっておられます。ぜひ、さらにこれからも成長いただきたいと思ひますし、われわれはわれわれで別途成長していきたいと思っています。

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

本資料中のスプリント・コーポレーション（以下「スプリント」）に関するいかなる記載も、当社がスプリントに対する投資家としての立場から行っているものに過ぎず、スプリントを代理して、又はスプリントのために行われたものではありません。本資料中のスプリントに関するいかなる情報も、スプリント自体が今後行うあらゆる開示に服します。スプリント及び当社はいずれも、スプリントが今後行う開示に関連して、又は今後発生する事象を反映するために、本資料中の情報を更新する義務を負いません。本資料におけるいかなる記載も、スプリントが自ら開示等を行う義務を構成するものとして解釈されてはならないものとします。

IMPORTANT INFORMATION

This presentation (this “Presentation”) is furnished to you for informational purposes regarding SoftBank Group Corp. and is not, and may not be relied on in any manner as, legal, tax, investment, accounting or other advice or as an offer to sell or a solicitation of an offer to buy limited partnership or comparable limited liability equity interests in SoftBank Vision Fund L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “Fund” or the “Vision Fund”). This Presentation is not intended to be relied upon as the basis for any investment decision, and is not, and should not be assumed to be, complete. The contents of this presentation are not to be construed as legal, business or tax advice.

None of the Fund, the manager of the Fund (the “Manager”), SoftBank Group Corp. (together with its affiliates, “SoftBank”) or their respective affiliates makes any representation or warranty, express or implied, as to the accuracy or completeness of the information contained herein and nothing contained herein should be relied upon as a promise or representation as to past or future performance of the Fund or any other entity referenced in this Presentation.

Recipients of this Presentation should make their own investigations and evaluations of the information contained in this Presentation and should note that such information may change materially.

No representation is made that the Fund's investments will be comparable to the selected SoftBank investments set forth herein, or any other SoftBank investments, in performance, portfolio composition or level of risk. Information

about past SoftBank investments is provided solely to illustrate SoftBank's experience in making investments that it believes have one or more, but not necessary all, of the characteristics of investments that the Manager intends to pursue on behalf of the Fund.

References to any specific investments of the Fund, to the extent included herein, are presented to illustrate the Manager's investment process and operating philosophy only and should not be construed as a recommendation of any particular investment or security. The investment performance of individual investments in the Fund may vary and the performance of the selected transactions is not necessarily indicative of the performance of all of the applicable prior investments. The specific investments identified and described herein do not represent all of the investments made by the Manager, and no assumption should be made that investments identified and discussed herein were or will be profitable.

Statements contained in this Presentation (including those relating to current and future market conditions and trends in respect thereof) that are not historical facts are based on current expectations, estimates, projections, opinions and/or beliefs of the Manager. Such statements involve known and unknown risks, uncertainties and other factors, and undue reliance should not be placed thereon. In addition, no representation or warranty is made with respect to the reasonableness of any estimates, forecasts, illustrations, prospects or returns, which should be regarded as illustrative only, or that any profits will be realized. Certain information contained herein constitutes "forward-looking statements," which can be identified by the use of terms such as "may", "will", "should", "expect", "project", "estimate", "intend", "continue", "target" or "believe" (or the negatives thereof) or other variations thereon or comparable terminology. Due to various risks and uncertainties, actual events or results or actual performance of the Fund (or any other entity referred to herein) may differ materially from those reflected or contemplated in such forward-looking statements. As a result, investors should not rely on such forward-looking statements in making their investment decisions. No representation or warranty is made as to future performance or such forward-looking statements. None of the information contained herein has been filed with the U.S. Securities and Exchange Commission, any securities administrator under any securities laws of any U.S. or non-U.S. jurisdiction or any other U.S. or non-U.S. governmental or self-regulatory authority. No such governmental or self-regulatory authority will pass on the merits of the offering of interests in the Fund or the adequacy of the information contained herein. Any representation to the contrary is unlawful.

Past performance is not necessarily indicative of future results. Investors may lose investment capital. There can be no assurance that the Fund will achieve comparable results or the Fund will be able to implement its investment strategy or achieve its investment objectives.

To the extent presented herein, information relating to industry sectors and sizes has been determined by the Manager based on internal research and data. Although the Manager believes that such determinations are reasonable, they are inherently subjective in nature. Other market participants may make different determinations relating to sector characterization and size based on the same underlying data. Certain information contained in this Presentation has been obtained from published and non-published sources prepared by other parties, which in certain cases have not been updated through the date hereof. While such information is believed to be reliable for the purposes of this Presentation, none of the Fund, the Manager, SoftBank, or their respective affiliates assumes any responsibility for the accuracy or completeness of such information and such information has not been independently verified. Except where otherwise indicated herein, the information provided in this Presentation is based on matters as they exist as of the date of preparation of this Presentation and not as of any future date, and will not be updated or otherwise revised to reflect information that subsequently becomes available, or circumstances existing or changes occurring after the date hereof. In this Presentation, references to “\$” or “US\$” shall be to the lawful currency of the United States.

Certain hypothetical illustrations set forth herein contain projections, targets, assumptions and expectations with respect to the performance of investments. These hypothetical returns, including the projections, targets, assumptions and expectations contained therein, have been prepared and are set out for illustrative purposes only, and do not constitute forecasts. They have been prepared based on the Manager’s current view in relation to future events and various assumptions and estimations, including estimations and assumptions with respect to events that have not occurred, any of which may prove incorrect. Projections, targets, assumptions and expectations with respect to Manager and the Fund are based on the Manager’s current beliefs for the future operations of the Fund, the Manager’s current views in relation to possible future events, and various other models, estimates and assumptions made by the Manager. Further, the targets stated herein are based on an assumption that economic, market and other conditions will not deteriorate and, in some cases, improve. These projections involve significant elements of subjective judgment. Others may select other underlying assumptions or methodologies that would significantly affect the projected returns or performance information set forth herein, even materially.

There can be no assurance that the expected projected results will be achieved, and actual results may vary significantly from the expected projections. General economic, natural and other conditions, which are not predictable and are outside the control of the Manager, can have an adverse impact on the reliability of such expected projections. There can be no assurance that the Fund will be able to make investments in companies that the Manager otherwise deems appropriate or, if it does, as to the size of the position it will be able to build. Moreover, the inability to sell investments in companies in these circumstances could materially adversely affect the investment results of the Fund. There is no guarantee that the Fund will be able to successfully implement the strategies described in the Information.

Certain information presented herein may be based, in part, on information from third parties believed to be reliable and/or assumptions that later prove to be invalid or incorrect.

Third-party logos included herein are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by such firms or businesses. There is no guarantee that the Manager, the Fund's portfolio companies or SoftBank will work with any of the firms or businesses whose logos are included herein in the future.

EACH RECIPIENT ACKNOWLEDGES AND AGREES THAT IT IS RECEIVING THIS PRESENTATION ONLY FOR THE PURPOSES STATED ABOVE AND SUBJECT TO ALL APPLICABLE CONFIDENTIALITY OBLIGATIONS AS WELL AS THE UNITED STATES SECURITIES LAWS PROHIBITING ANY PERSON WHO HAS RECEIVED MATERIAL, NON-PUBLIC INFORMATION FROM PURCHASING OR SELLING SECURITIES OF THE APPLICABLE ISSUER OR FROM COMMUNICATING SUCH INFORMATION TO ANY OTHER PERSON UNDER CIRCUMSTANCES IN WHICH IT IS REASONABLY FORESEEABLE THAT SUCH PERSON IS LIKELY TO PURCHASE OR SELL SUCH SECURITIES.